

(様式⑦-1 小中学校)

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ

学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立福泉南中学校
校長 中島 寛

中学校区におけるめざす子ども像

豊かな心で人と協力し、将来の夢の実現に向けて努力する子ども

令和6年度 重点目標

知徳体の調和のとれた心豊かでたくましい人間の育成 ～ゆめや目標を持ち 自ら未来を切り拓く生徒の育成～

「学び」の現状～仲間とともに学びあい、活用できる知識を習得する～

毎年チャレンジテストにおいて、本校主眼国語・数学で中央値が大阪府値を下回っていることが大きな課題であった。これは、国語・数学において30点以下の層（低位層）の成績がなかなか伸びないことに要因があると考えられる。このことを受けて、昨年度家庭学習課題の提示方法を、定期テスト前に全教科が課題を提示するのではなく、時期をずらしながら課題へ取り取り組み易いように変えたことで、低位層の成績において理科や数学を中心に結果が少しずつ出始め、同時に60点以上の層の成績の伸びが見られた。これらは、家庭学習課題の提示方法だけでなく、本校教職員による研修で、生徒が主体的に取り組める授業づくりを行ってきた成果が出ていると言え、また研修と連動して行っている学力向上に関する取り組みの成果でもあり、今年度も引き続き生徒が主体的に学びに取り組んでいけるよう総合と道徳も含めた「総合的な学力の向上」と併せて、「お互いに学びあう環境」と「個別最適な学び」の推進の実現を目指していく方向である。

「健全な身体と心の育成」の現状

本校生への学校アンケートの結果において、「学校に行くのが楽しい」に対する肯定回答率が毎年上昇しているところである。新型コロナウイルス感染症が一旦収束を見せた令和4年度から5年度にかけては、とくに上昇率が大きくなった。生徒にとって、学校で友人たちと過ごす時間が貴重である、改めて認識された結果であると考えられる。今年度も道徳や総合の学習で人間関係づくりに重点を置き、いじめ防止等の呼びかけと連動して、積極的な生徒指導の充実を図る。各学年に見られる複数の不登校生徒については、生徒の主訴を傾聴し、引き続き関係構築に努めている。生徒の健全な身体・成長についても、成長期に不可欠な運動の機会を徐々に増やし、可能な限り全生徒が参加できる取り組みを検討し、より一層運動することへの喜び・体力の向上・健康的な生活習慣の確立に努めていく。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～1月)	達成状況(年度末)				
								自己評価	学校関係者評価			
確かな学び	基礎基本の定着	学力低位層への継続的な指導及び教育の質の向上	数・英で少人数授業を行い、生徒の理解力向上に努めたい。	チャレンジテストで各教科の中央値を昨年度の府平均より向上させる。	チャレンジテスト	2月	○	3年生は、前年度より無回答率が減少し、積極的な解答が見られた。(1,2年生は実施前)	○	生徒の学習理解が進み、3年生でチャレンジテストの結果において、数学では因数分解・図形読み取り理解が府平均より約2ポイント上回り、英語では読解力が府平均より約1ポイント上回った。(1・2年生の結果は3月末発表)	○	・少人数での授業とグループ学習の併用大変良いと思います。
			●グループ学習を展開し、聴きあえる環境づくりと発表によるアウトプット力増進に努める。	総合的な学力プロフィールで理解度向上を目指す。	学校教育アンケート	2月	○	ほぼ、全教科において、グループでの活動を導入し、聴きあい教えあう活動を実施。	○	○	・少人数授業の取り組みが、無回答率の減少へとつながったと同時に、学ぶ意欲にもつながり、この取り組みは続けていきたいです。	
	授業改善	「学びのコンパス」を活用した主体的・対話的で深い学びの実現 「堺STEAMブック」を活用して予測困難な社会へ対応 ICTの効果的活用によりSociety5.0に対する的確に対応	研修委員会を中核とした校内研修の充実	年度末反省職員会議の報告内容で教員が自己肯定感を向上させる。	研修記録	3月	○	学期に2回の公開授業研究と教員同士の授業参観で、授業力向上を図る。	○	研修・学力向上担当教職員を中心に、各学年で学期ごとに大・小2回の校内公開授業を行い、授業シートを相互に交換してスキル向上に努めた。また、今年度から朝学活で生徒がPCを取り出し、各授業で即時に使用できる体制を作った。その結果、生徒が自ら考える力が向上し、チャレンジテストで英語の文章理解力や数学の図形理解力が大きく向上し、大阪府平均を上回った。	○	・「学びのコンパス」「堺STEAMブック」についてもう少し詳しく知りたいと感じました。また、ICTへの取り組みをもっと進めて欲しいです。
●1人1台のパソコンにより、ドリルコンテンツなどを活用し、個別最適な学びを推進する。			教員がTeamsを使用するなどタブレットの効果的活用を可能とする。	学校教育アンケート	2月	○	朝一番に生徒用PCを出して、全授業での活用を図っている。	○	○	・先生方の研修・公開授業研究での授業力向上により、生徒も学ぶ意欲を高め、良い影響を与えていると思います。		
●授業主題を工夫し、主体的に対話的な深い学びにより意見交流活動を組織的に取り入れる。			問題解決力の項目で堺市平均に昨年度より近づける。	チャレンジテスト	2月	○	学力調査プロフィールで、主体的に対話的な学びの数値が高くなっている。	◎	○	・PCの使用で、教員の負担が軽減すれば良いなと思います。		
豊かな心・健全身体の育成	心の教育の充実	教育活動全体を通じた人間教育の推進 道徳教育の体系的な推進による思いやりの心の醸成	年間計画に基づき、計画的・継続的に道徳教育を推進する。	計画されたすべての時間に道徳教育を行う。学年ごとに研究授業を行う	授業記録	2月	○	各学年で、ローテーション授業を実施し、道徳心の向上を図っている。	○	各学年の道徳授業で、担任教員だけでなく副担任・支援学級担任も加わりローテーション授業を行ったことで、多様な価値観や考え方に触れる機会を確保した。その結果、各学期毎のこのアンケート(いじめ防止アンケート)の際に、生徒自身が自分のことだけでなく、周りで困っている生徒や善意の行動を起こす生徒に関しても話すケースが増え、小中で目指す心温かい生徒の育成に向けて前進できた。	○	・泉北ニュータウンでは、住民の国際化も進んでいますので、国際的な多様な価値観の受け入れを進めて欲しいです。
			●いじめ防止および早期発見・早期解決を行う。	いじめ発見後、半年以内に解決を行う。	学期末アンケート 問題行動調査	学期ごと 3月	○	各学期で、いじめ防止のこのアンケートを実施し、教育相談により生徒の悩みに傾聴。	○	○	・担任教員だけでなく沢山の先生方が関わることで、色々な考え方があることを知り、生徒自身の心に響いていると思います。いじめをしている生徒はSOSを出している子が殆どで、家族関係(親子関係)が大きく影響していると思うので家庭との連絡を密にすることが大切です。	
			●小中一貫グラントデザインと連動し、「考え、議論する道徳」に向けた指導方法の工夫を行う。	授業において生徒が、自己の生き方について考えを深め、発言する。	授業参観 オープンスクール	学期ごと 2月	○	管理職レベルと担当者レベルで情報交換を実施。小中合同夏期研修も行い、共通認識を形成。	○	○	・部活動の練習時間を短くしたことで、厳しい指導というだけでなく、誰もが参加しやすい部活動へ移行していると思います。 ・AIは使いこなすもので、支配されてはいけなと感じます。人と同じで声掛けで答えが変わるので、それを生徒に理解させてあげて欲しいです。	
	運動習慣の確立	体力向上のための取り組みの充実	体力向上に向けて、体育科を中心に生徒が主体的に取り組める内容を検討・推進する。	生徒の、体力向上への意識を高める。	体力テスト 学校保健委員会	3月	○	体育のカリキュラムを効果的に実施。	○	体力増強と併せて、体育の授業でも生徒用PCを活用し、自分自身の活動を客観視してより積極的に体育的活動へ取り組める機運を醸成した。また、部活動ガイドラインに沿って、生徒の心身に負担がかり過ぎない活動内容を提示し、スポーツに触れる機会を増やすことができた。	○	・コロナの影響で、子どもたちの体力低下が全国的な課題になっているので、楽しみながら体力向上に取り組み出来るプログラムの実施をお願いします。
			適正な休養を伴う、部活動指導の活性化	各部活動での平日1日・土日1日の休日の確保。適正な練習時間の設定。	学校教育アンケート 部活動保護者会	2月	○	部活動ガイドラインに沿って、適正に活動を行っている。	○	○		
	地域協働	信頼される学校	地域や保護者と連携した学校運営の推進	ホームページやtetoruを活用して情報を発信し、またオープンスクールの開催と併せて、地域に開かれた学校づくりに努める。	学校HPの毎日更新。定期的なたよりの発行。	学校教育アンケート	3月	○	HP、tetoruで、学校の様子や情報を適宜発信している。	○	保護者さんや地域の方々に、中学校の活動をよりよく知ってもらうため、毎日のHP更新を適宜行えた。また、緊急の連絡や、HPに加えて確実に保護者へ連絡が行き渡るよう、tetorでの配信も適切に実施できた。学校協議員の皆様にも、学校運営に関するご助言をいただくことができた。	○
地域とともにある学校づくりをめざした「学校協議会」の運営				学校力向上のための多方面から意見を聴取する。	学校協議会の開催	3月		3月上旬	○	○	・HPIは、保護者が学校の雰囲気を知ることができ安心です。 ・忙し中での活動、ご苦勞様です。	

学校関係者評価者から（年度末） ・夏祭りへのボランティアとしての参加や軽音楽部のステージへの出演など、子どもたちが地域で活躍できる機会を出来るだけ設けるように自治会でも積極的に連携して参りますので宜しくお願いします。また、次年度から成人のお祝い会を小学校単位ではなく、中学校単位で開催したいと思いますので宜しくお願いします。 ・「自ら未来を切り拓く生徒の育成」➡ 教科学力向上で勉強だけできても、生きていくことはできません。中学生の今は、大人に見守られ生活できていますが、この先はどんな大人になりたいかを考えられる子、自分の人生を大切にできる子に育って欲しいと思います。今、先を見ることは難しいかと思いますが、生きていく中で大切な自分の道や人生は、自分で決めて生きていける子、自他両方とも命を大切にできる子、強い心を持てる子の育成を、今後も教育の中に取り入れていただければと思います。 ・少子化の流れで、子どもたち一人一人に強い関心が注がれ、子どもたちも大変だと思いますが、学ぶ“きっかけ”が修得できれば最高だと思います。スマホでゲームではなく、勉強ができることを覚えられればと思います。子どもから大人になっていく中学校時代は、自分自身の心や体の変化に戸惑う年齢で、難しいと思いますが、ご指導をよろしくお願いしたいと思います。
--

校長より（年度末） 今年度は、より一層「知徳体の調和」「自ら未来を切り拓く生徒の育成」に力を注ぎました。なぜなら、教科学力のみの上ではそれを正しく生かす能力も身につけることが難しく、重要なことは「学んだことを世の中のために活かす力」だからです。そして、生徒同士の交流で育まれる思いやりや行動に移せる力が、やがて自分自身の人生を切り拓く力になると伝える教育が大切であると考え、前述の学校目標に力を入れて実践いたしました。 次年度も引き続き、生徒の「人間教育」を推進するために、学校運営協議会の皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いします。
